

1991年 10月10日

<毎月10日発行>

第142号 4頁 200円

定期購読料（送料込み）

半年 1500円、1年 3000円

赤旗

せつき

共産主義者同盟中央機関紙

(1980年2月28日第3種郵便物認可)

二面…闘争報告

三面…臨時国会の特徴

四面…オネ・マルクス主義批判

東京都下谷郵便局私書箱180号
(関西) 大阪市港郵便局私書箱40号
郵便振替 東京 9-352128発行
赤路社

PKO法案粉碎に総力を



天皇・自衛隊をアジアへ行かせるな！9・22全国集会（芝公園）

10・20三里塚現地へ

切崩し＝公開シンポに反対する

米帝は、アジアの新秩序づくりをまずカンボジア和平の実現を手始めに、国連安保常任理事国（米・英・仏・中・ソ）の主導の下に画策しており、今月二十三日予定されているカンボジア四派の参加する「パリ国際和平会議」で、その構組みを確定しようとしている。そうした中でアジアを

アジアを訪問し、「平和国

は困難」だといえ、早期に「千人規模」の派兵を実現すべく、PKO法案の成

立に突進していくことはま

家」を宣伝してきたのだつ

らと、海外派兵法案への理

由がわからない。

日本帝は、「湾岸」の時の

ような金だけの「貢献」に

満足せず、何としても自

も廢案化して、今国会で見るべき成果を上げられ

ないまま崩壊した。とは言え、それは人民の闘い

によってというより、主として激動の時代にどの

ような国家体制で臨むのかを巡る敵階級内部の不

統一によって生じたものだった。財界は失望を表

明した。政府と自・公・民が、十一月臨時国会を

開催して派兵法案の成立を画策するのは必至の情

勢にある。米帝の「世界新秩序」建設の環たる日

帝のアジアにおける軍事霸権樹立と戦争遂行国家

体制構築の策謀を、アジア人民と団結して、全国

人民の総力を粉碎しよう。

アジア人民と団結し
「世界新秩序」を爆碎しよう

の默認を得ようとしている
のである。
実際日本は、それこそが
現代世界において資本の海
外権益を防衛する為の最適
の派兵形態だという判断を
固めてきた。竹下派会長代
行の小沢は、米ソ「冷戦」

の終結と「湾岸」戦争の事
態の中で米帝主導の世界新
秩序建設に貢献する路線を
早く主唱し、日本国憲法の
基底にある米帝的世界支
配思想（国連憲章）の継承
の精神に反しない」と主張

する。
社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

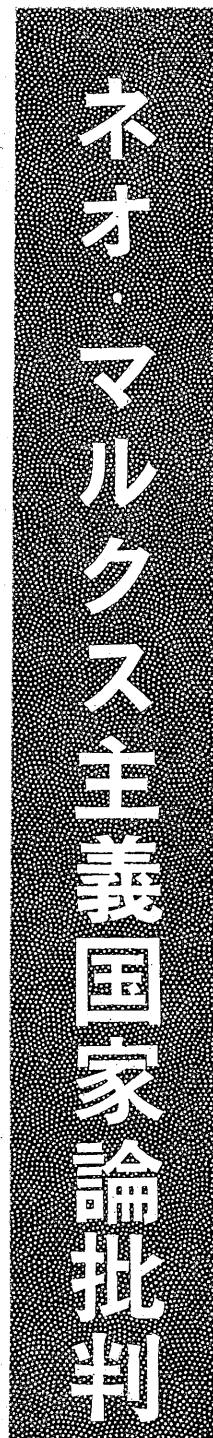
した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派兵法案への理
由が首相になるようと大差
ない。いずれも、資本の国
の護憲派を自認する宮澤
喜一は、「国連常設軍」の
創設を提案し、改憲を叫ぶ
シア諸国（アラブ諸国）の政
府・支配階級

が支持する土俵の中で、
渡辺美智雄も、国連平和維
持軍や国連軍への自衛隊参
加に賛成した。

した。社会党は、「国際貢
献を認め、海外派兵法案への理
由がわからない。
日本帝にとって最大の難問
争」と第三者的に語って見
せんに止めたのだ。十月七
日には公明党委員長の石田
赳氏を送り込み、軍事力を
担保に国連現地機構の「次
長」の座をせしめようとして
いるのである。時間的に
見て頭初からの「部隊参加
は困難」だといえ、早期に
に「千人規模」の派兵を実
現すべく、PKO法案の成
立に突進していくことはま
だ。このことは、八月末の
来年度予算概算要求でも明
らかとなっている。要求案
はアジアから批判だ。こ
れを和げる為に、九月二十
日から天皇が史上初めて
が訪問し、これも「平和の
アジア」を訪問し、「平和國
家」を宣伝してきたのだつ
た。しかし、そのかくされ
解を求めてきた。日本帝は、
「平和維持」の為に「國
連」の一員として行動する
アジアを推進しているのだから
らと、海外派



山村信二

(12)

分なのだ。

ボアイエにとって、「賃労働関係の変化」は「発展様式の長期的变化における主要決定因の一つ」であるが、その「形態は事実上の妥協であれ制度化された妥協であれ、妥協から生ずる」だけのものでしかない。

たしかに貨闘争は、資本家の搾取を前提にしながら、労働者の権利向上の一環として労働協約を締結し妥協する。だが賃労働と資本の関係は階級的・非凝集性を維持し、相対立する諸階級間の妥協の均衡を管理すること」であり、「資本主義国家は本質的な実体と見做すべきではなく、諸階級分派の力関係・物資的凝縮と見做すべき」(註4)と主張し、その力関係は「妥協による不安定な均衡に基づく」(『資本主義国家の構造』)としたニコラス・ブランツと全く同一のものである。

ところでボアイエによれば、レギュラン・オニストの任務は、「一つの純粹理論を打ち立てて、それが不可避的な移行の媒介者となる」のではなく、フォード主義が総合的な経済動態(あるいは分裂)とが総合的な経済動態(あるいは分裂)である。

「社会の凝集(あるいは分裂)が総合的な経済動態(あるいは分裂)である」というものである。

分析し理論化することにあると

ボアイエ理論の整理

ボアイエは、国家が「単に独占の力の集中的表現」だけではない(註1)理由として、「国家は、もっともと広範な妥協の総体―産業資本主義と農民世界の近代主義的な資本分派と大半の賃労働者との妥協などを内包」していく「つねに矛盾した要請に従っている」からだという。それ故国家とは、「一面で蓄積維持の、他面で現存社会諸関係の正統化の要請に服すもの」(註2)として規定しえる。

このボアイエが、レギュラン・オニストの創設者と仰ぐリビエツツは、国家を「あらゆるレギュラン形態のアルケティープ(原型)」である。階級闘争が調整されるのは、国家のレベルである。国家は妥協を凝縮する制度的諸形態である」(註3)と述べている。

これは、「国家の一般的機能は凝集性を維持し、相対立する

諸階級間の妥協の均衡を管理す

ること」であり、「資本主義国

家は本質的な実体と見做すべき

ではなく、諸階級分派の力関係・物資的凝縮と見做すべき」(註4)と主張し、その力関係は「妥協による不安定な均衡に基づく」(『資本主義国家の構造』)としたニコラス・ブランツと全く同一のものである。

レギュラン・オニストの任務は、「一つの純粹理論を打ち立てて、それが不可避的な移行の媒介者となる」のではなく、フォード主義が総合的な経済動態(あるいは分裂)とが総合的な経済動態(あるいは分裂)である。

「社会の凝集(あるいは分裂)が総合的な経済動態(あるいは分裂)である」というものである。

分析し理論化することにあると

ボアイエは、「われわれはマ

ルクス主義的方法や問いか

れてある程度まで忠実であ

る」という。資本主義の長期動

向を支配する諸法則を最終的に

正統派(『全般的危機論を掲げ

る』)マルクス主義と「資本制的

生産様式の構造的不変素を強調

しきりに：諸矛盾の作用を過少

評価する構造主義とを並べて

一くとする。そして、「螺旋的

かづ革新的」で、「時代ごとに

異なる諸様態に従って再生産さ

れる」歴史上の「各社会にはそ

の構造に応じた危機と局面状況

がある」ことを引き出すことに

主導的な問題意識を置く。小論の

目的に則れば、注目しなければ

ならないのはこのレギュラン・オニ

ンのプロセスで、「世界

本主義を巡る諸様態を理論化

し、「危機脱出のプログラム」

に役立てるという政治目的それ

自体である。またボアイエは、

現行の経済諸構造及び社会諸形

態を考慮に入れつつ、総体とし

ての再生産にむけて競合的に作

用するような諸メカニズムの結

合関係に関するこの理論は、ケ

ンズ的リニーディール的な

「規制」と調整の違う、と強調

している。

これらをまとめると、ボアイ

エの理論とは、国家独占資本主

義の経済構造の再生産のメカニ

ズムを対象として局地諸状況を

分析し、その危機脱出のプログ

ラムを編制すること。その際商

品およびあるいは賃労働関係

がどんな影響を与えるのか――

白紙にしておく」というのである。

マルクス経済学の核心命題、すなわち資本主義批判の見地を

次帝国主義戦争以前の現代資

本主義の国家観を正当化した

国内政策主張に他ならない。だ

る。要するに、帝国主義の超過

力と同一の、要するに、経済

社会資本投資を手控えるとい

う。彼にとって「危機」とは何か

「労働者の賃金要求」や「社会

的コストの増大(階級分配のた

めの諸費用)」だと言つてい

る。要するに、帝国主義の超過

力と同一の、要するに、経済

社会の凝集(あるいは分裂)

のそれであるかのように普遍化

するところの、「外見上社会の

上に立っているかのような姿」

である。

レギュラン・オニスト

マルクス主義

本階級の共同利害を社会全体

のそれであるかのように普遍化

するところの、「外見上社会の

上に立っているかのような姿」

である。

レギュラン・オニスト

マルクス主義